

## アジアにおける米軍基地に反対し、日本の集団的自衛権行使に反対する国際連帯集会 基調

安倍政権は、集団的自衛権行使を容認する閣議決定をおこない、来年には、集団的自衛権行使のために新法を制定しようとしています。政府が、憲法をふみにじって集団的自衛権を行使しようとするのは、米軍とともに自衛隊（日本軍）が世界中で軍事行動をできるようにするためです。そしてまた、日本の海外権益を自らの軍事力で防衛できるようにするためです。1990年代初頭に、掃海艇派兵やカンボジア派兵で開始された自衛隊の海外派兵は、集団的自衛権行使へと踏み出すことで、まったく新しい段階に入ってしまいます。それは、自衛隊が、世界中で軍事行動を開始するという、自衛隊が「殺し殺される」軍隊へと変貌していくこと、そして、憲法九条の改悪へと直結していくことです。すでに、安倍政権は、特定秘密保護法を制定し、戦争司令部というべき国家安全保障会議を創設してきました。また、これらと結合して、領土問題や歴史問題、日本軍「慰安婦」制度問題などで、排外主義や愛国心の扇動をかつてなく強めています。安倍政権の進めていることは、世界中で戦争のできる国作りです。来年に予想される集団的自衛権行使のための国内法を葬り去るために、首相官邸・国会を包囲する民衆のたちあがりをも進めていきましょう。

集団的自衛権を行使することは、日米軍事同盟（日米安保）の再編・強化、基地の再編・強化と不可分です。いま、沖縄や「本土」各地の米軍基地と自衛隊基地は、日米両軍の出撃拠点、前線基地として再編・強化されています。その最大の焦点が、沖縄での辺野古新基地建設と岩国基地の大強化です。

沖縄の人々は、今年、名護市長選、名護市議選、そして、先の沖縄知事選と、そのすべてにおいて、辺野古新基地建設にNOをつきつけ勝利しました。それでも日米両政府は、沖縄の人々のこの願いを無視し、辺野古新基地建設を強行しようとしています。絶対に許してはなりません。いま問われているのは「本土」における闘いです。沖縄の人々とともに、全国で辺野古新基地建設を拒否するうねりを作りだすことによって、辺野古新基地建設は葬りさることができます。全国でたちあがりましょう。

岩国の人々も、厚木からの空母艦載機移駐に対して2006年に住民投票を行い、これに反対する住民の多数意思をはっきり示しました。しかし、日米両政府は、岩国の人々の願いを無視し、強引に岩国基地大強化をگریおししてきました。岩国基地強化の内容とは、2017年の厚木からの空母艦載機59機の移駐、最新鋭米戦闘機F35の配備、愛宕山米軍住宅建設（270戸の住宅と野球場や運動場など）を中心としています。そればかりか、すでに、今年の夏には、普天間基地から空中給油機KC-130部隊13機の移駐が行われました。さらに、オスプレイの低空飛行訓練基地としての機能も負わされています。2017年には、岩国基地は、最新鋭戦闘機など130機前後が集結する極東最大の海兵隊基地となってしまいます。岩国市は、米軍関係者1万人をかかえる街となるのです。住民は、騒音や米軍犯罪に晒されていくこととなります。しかも、岩国基地は、海上自衛隊との共同基地であり、集団的自衛権が行使されることになれば、日米両軍による最大の出撃拠点となっていきます。また、朝鮮有事に対応した日米両軍の最前線基地として機能していきます。

基地新設・強化は、それだけではありません。京丹後市では、今年、新たに米軍Xバンドレーダー基地の新設が強行されました。これは、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）から

発射されるグアムにむけたミサイルを迎撃するためのものとして強行されました。また、神奈川や横田、三沢など、各地で巨大な米軍基地が存在し続けています。基地の新設・強化は、歯止めがありません。こうした日米軍事同盟の再編・強化の最大の要に位置する沖縄の辺野古新基地建設と岩国基地の大強化に対して、各地での反基地闘争を固く結合してこれに反対する声をより強めていかなければなりません。集団的自衛権行使と基地新設・強化に反対したたかっけいかなければなりません。

この日本の集団的自衛権行使および日米軍事同盟と基地の再編・強化は、米国が打ち出してきたアジア重視政策がその背景にあります。また、これと結合した日本の海外での軍事行動への踏み出しという政策が結合しています。米国は、アジア重視をうちだし、中国や北朝鮮に対する軍事的包囲を強化しつつ、中東を始めとする世界各地での軍事行動を進めていく拠点として、アジア太平洋地域での軍事的プレゼンスを高めています。いま、アジア太平洋地域では、米国を中心とした二国間軍事同盟の新たな強化が進められています。フィリピンでは民衆が立ち上がり1990年に米軍基地をすべて撤去させました。しかし、フィリピン国軍基地を共同使用する形で、実質的には米軍がまいもどっています。韓国でも、済州島での韓国海軍基地建設が新たに策動されていますが、これらが米軍も使用する基地になることは明らかです。そして、米国との二国間軍事協力の強化を軸に、米国を中心とした多国間の軍事協力体制の形成も進んでいこうとしています。日米韓軍事協力体制や日米豪軍事協力体制の新たな形成などが進められていこうとしているのです。

そして、こうした米国のアジア重視政策と結合するかたちで、独自の軍事出動を新たに開始させていこうとしているのが安倍政権なのです。

安倍政権は、支持率の低下と民衆の闘いに追いつめられて衆議院の解散総選挙に打ってでました。いまなら与党が多数をとれると思っけい解散総選挙です。多数を確保することで、安倍政権の政権基盤を強化し、集団的自衛権行使のための新法、基地新設・強化、原発再稼働などを強引に推し進めようとしています。そして、労働法制改悪など労働者にますます貧困と無権利を強制しようとしています。戦争への道を突き進む安倍政権を倒しましょう。総選挙で自民党公明党にノーを突きつけよう。集団的自衛権行使のための新法を葬り去ろう。辺野古新基地建設をやめさせ、沖縄から基地を撤去させていこう。京丹後米軍Xバンドレーダー基地を撤去させよう。神奈川や横田、三沢の米軍基地撤去を。2017年にむけて進められている岩国基地大強化をなんとしてもストップさせるためにともにたたかっけいいきましょう。基地の街を、基地撤去と平和を求める希望の街に！

そして、アジア太平洋地域から米軍と米軍基地を一掃していく国際的な連帯と共同闘争を作り上げていきましょう。韓国に米軍基地はいらない。フィリピンから米軍はでていけ。オーストラリアから米軍はでていけ。アジア太平洋地域からすべての米軍基地を総撤収させるまでともに歩んでいきましょう。

2014年11月29日 国際連帯集会参加者一同